

「昔より今は良い時代だが」

出番あじろさんおぼろげさん



太田 英義さん (76歳・太田名部)

《254》

★：今までで一番大変だと思つたのは、ケツパイ(食べるものがない)がきたときだなんすう。★：確か終戦のあたりだったと思いますが、両親は早くになくなっていますんすかいに、俺が兄弟を育てないばなんなく、なんぼう苦労すたんだが...。★：弟が北洋の船に乗っていで、船から落ちて亡くなつたときもうんと辛い思いをすますた。★：今は良い時代だがんすう。楽しみごどもたくさんあつてえ。★：ほんだすかいに、デイサーピスだのゲートボールは、夢中になつてやっていますん。★ウニだのアワビの口開げには、手伝いに浜さいぎますんがあ(笑)。★孫だのひこ孫が遊びにきてけんのも心待ちにしていますた。めんこいもの(笑)。

「普代の植物散歩」⑩

アワコガネギク (キク科)

大森 竹之助さん (七二)

久慈市在住



岩手県が北限といわれるアワコガネギクは、普代村にもしっかりと生育している。十一月上、中旬ころ萩牛川のほとりや、山道を歩いたときに、道端などでよく目にする。初霜から二〜三度の霜があつて、他の植物はみな枯れてしまつているのに、この花はきわだつてしっかりと咲いている。花名は密集するアワのよう

な、黄色い花にもとづくといわれている。別名はキクタニギクで、京都東山の自生地が菊谷だからという。草丈は八十センチメートル前後で、葉はキクの葉によく似ている。車で走つていて、山



川柳の世界

川柳 (575)

川柳愛好会 十月例会作品

君とならそんな言葉も過去のこと
幾とせの空白埋める術もなし
これからの余生仲良く歩きたい
三上 翠香

老いて今幸に生き無計画
ぬけぬけと帰る愚かな旅がらす
さからわず同居で暮らすむすましさ
深渡 汀女

ゆるぎない余生を見つめ これからも
空白の時を揺るがす胸騒ぎ
計画に向かつて進む蟻の列
太長根英子

ぬけぬけと第一発見者を気取り
同居して協調心を涵養す
君となら歩調合せていけそう
加差野静浪

空白のページを埋める午後の雨
君となら登つてみたいチヨモランマ
計画書出せと上司の荒い声

麓にこの花の群落を見ることがある。また数株とか一株で咲いていることもある。花は鮮光黄とも思われる、鮮やかな黄色で、黄金が泡のようにわき出る感じがしたり、いや泡のように黄金が消えていくのかなと思ったり、なかなか好い感じが伝わってくる。

この花はやがて下向きになって、枯れるころ本格的な冬の到来となる。